

2025年度（令和7年度）ふくやま文化ゾーン情報（予定）

| | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| ※都合により日程・展覧会名称等を変更することがあります。 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------------------------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|

ふくやま美術館 TEL(084)932-2345

〒720-0067 福山市西町二丁目4番3号

- 開館時間／午前9時30分～午後5時
- 休館日／月曜日（祝休日の場合、その翌日）・年末年始
- 観覧料－所蔵品展／一般310円（250円）
- ※（ ）内は有料20名以上の団体
- ※特別展の観覧料は別に定めます。
- ※所蔵品展・特別展ともに高校生以下無料

ホームページ

特別展 第20回世界パラ会議福山大会記念事業

Rose イメージの系譜

ルドワーテからシャガール、北斎、声雷、『ヘルサイユのぼら』まで

4月5日(土)～6月8日(日)

前期：5月6日(火・休)まで 後期：5月8日(木)から

近世以降の西洋と日本における様々な芸術に表現されてきたパラのイメージをたどる、その質と幅広さにおいて過去に例を見ない、大規模なパラの美術展です。ルドワーテの希少な肉筆画やシャガールといった西洋美術はもちろん、北斎や長沢声雷など江戸時代の日本の作品に表現されたパラ、『ヘルサイユのぼら』の貴重な原画、本展のために現代作家が制作した作品まで、多様な作品を通して、数百年にわたるパラのイメージを探ります。

福山市美術展覧会
前期：6月18日(水)～22日(日)
後期：6月25日(水)～29日(日)

特別展 アートであそぼう ブルーノ・ムナリー展

7月12日(土)～9月15日(月・祝)

イタリア・ミラノで生まれたブルーノ・ムナリー（1907－1998）は、日本では絵本で知られているアーティスト、デザイナーですが、その作品は多岐にわたります。本展では、そうしたムナリーのさまざまな仕事を、5つのテーマで展覧するほか、遊具を手にとってあそんだり、実際にワークショップを体験したりもできます。見て、触って、感じて、アートと楽しくあそぶ心をひろく、ムナリーの世界をのぞいてみませんか。

第55回世界児童画展
8月2日(土)～11日(月・祝)

春季所蔵品展 ヘストレコレクション「今」見るふくやまの名品

4月3日(木)～6月29日(日)

夏季所蔵品展 ブルーの世界

7月4日(金)～9月23日(火・祝)

秋季所蔵品展 没後50年 金島桂華－自然へのまなざし

9月27日(土)～12月14日(日)

特別展 東京藝術大学大学美術館名品展 美の殿堂への招待

10月4日(土)～12月7日(日)

東京藝術大学は、その前身である東京美術学校(1889年開校)の時代から美術教育のための美術品の収集に力を注いできました。1999年には東京藝術大学大学美術館が開館しました。本展は、その大学美術館が所蔵する膨大なコレクションの中から、近代の美術作品に焦点を絞り、高橋由一（鮎）、狩野芳崖《悲母観音》など重要文化財をはじめ、日本画、洋画、彫刻、工芸など各分野からあわせて約120点を紹介します。

特別展 生誕140周年 藤田嗣治 7つの情熱

2026年1月24日(土)～3月29日(日)

藤田嗣治（レオナルド・フジタ、1886－1968）は、西洋と東洋、それぞれから受けた影響を組み合わせ、独自のスタイルを確立した画家です。本展では、フランスの藤田研究の第一人者であるシルヴィー・ビュイッソン氏監修のもと、フランス各地に所蔵されている作品を中心に、藤田との関わりが深い日本人画家の作品を交えながら紹介します。自画像や女性像、宗教画など、彼の創作の源泉ともいえる7つの情熱に沿って藤田芸術の秘密を探ります。

第17回ふくやま子ども(生きる)美術展
2026年1月2日(金)～1月12日(月・祝)

冬季所蔵品展 何も無いと思いきや…… 第3室：特集 高橋秀新収蔵品展
2026年1月2日(金)～3月29日(日)

ふくやま書道美術館 TEL(084)925-9222

〒720-0067 福山市西町二丁目4番3号

- 開館時間／午前9時30分～午後5時
- 休館日／月曜日（祝休日の場合、その翌日）・年末年始
- 観覧料－所蔵品展／一般150円（120円）
- ※（ ）内は有料20名以上の団体
- ※高校生以下無料

ホームページ

| | | | | | | | |
|---|--|---|---|--|---|--|---|
| 一緒にかく 古代文字展 8月1日(金)～8月17日(日) | | ETOをかく 2026新春展 2026年1月2日(金)～1月18日(日) | | | | ふくやま書道美術館 臨書展 2026年1月27日(火)～2月15日(日) | |
| 春の所蔵品展 「一行書の魅力」 4月4日(金)～5月6日(火・休) | 夏の所蔵品展 I 「対聯の魅力」 5月10日(土)～6月14日(土) | 福山市美術展覧会 前期：6月18日(水)～22日(日) 後期：6月25日(水)～29日(日) | 夏の所蔵品展 II 「一緒に見る 家族の書」 7月4日(金)～8月24日(日) | 秋の所蔵品展 I 「没後20年 中室水穂」 8月29日(金)～10月19日(日) | 秋の所蔵品展 II 「文房具を愛する」 10月24日(金)～12月14日(日) | 冬の所蔵品展 I 「気になる!? 怪物たちの書と絵画」 12月20日(土)～2026年2月8日(日) | 冬の所蔵品展 II 「金石を見つめる 一碑学派の人たち」 2026年2月13日(金)～3月29日(日) |

ふくやま文学館 TEL(084)932-7010

〒720-0061 福山市丸之内一丁目9番9号

- 開館時間／午前9時30分～午後5時
- 休館日／月曜日（祝休日の場合、その翌日）・年末年始
- 観覧料－常設展／一般310円（250円）
- ※（ ）内は有料20名以上の団体
- ※特別展の観覧料は別に定めます。
- ※常設展・特別展ともに高校生以下無料

ホームページ

| | | | |
|---|--|---|--|
| 特別企画展 ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ 番外編 ～たたりめ堂へようこそ～ 4月25日(金)～6月28日(土) | 特別企画展 被爆80年 井伏鱒二「黒い雨」 8月1日(金)～10月5日(日) | 特別企画展 光原百合の世界 10月24日(金)～12月27日(土) | 木下夕爾賞 入賞作品及び一次選考通過作品展示 2026年1月10日(土)～2月1日(日) |
|---|--|---|--|

幸運な人だけがたどりつける、ふしぎな駄菓子屋「銭天堂」。その銭天堂をライブ化している、よどみの店「たたりめ堂」がふくやま文学館に出現！ 西日本では初の開催となります。原作挿絵を元に再現された、たたりめ堂のお菓子をはじめとした立体造作や多彩なイラスト、更に怪童がオーナーを務める天顰園と、そこで新たにオープンしたキャンディーショップが初公開！ こどもから大人まで虜にする児童書「ふしぎな駄菓子屋 銭天堂」シリーズの世界をぜひご堪能ください。

2025年は、1945年8月6日に広島市に原爆が投下されてから80年という特別な年にあたります。井伏鱒二の小説「黒い雨」は、原爆を扱った日本の文学を代表する作品です。井伏は、直接被爆の体験はありませんが、戦争を重要なテーマとして、戦後の文学活動を展開しました。「運洋隊長」「かきつばた」に続く戦争文学の集大成として位置づけられる「黒い雨」は、文壇の枠をこえて、人々に大きな感動を与えました。本展では、井伏鱒二と重松静馬の書簡や、周辺資料、直筆原稿などから、「黒い雨」という作品を多角的な視点から紹介いたします。

広島県尾道市出身の光原百合は、1998年に『時計を忘れて森へ行こう』で小説家デビュー、2002年に短編小説「十八の夏」で第55回推理作家協会賞を受賞、2011年には『扉守 瀬川道徳の旅人』が第1回広島本大賞を受賞しました。郷土の尾道市立大学で教鞭をとりながら、ミステリー、詩集、絵本、重話と幅広い文学活動を展開しましたが、2022年8月、58歳で病により亡くなりました。作者のやさしいまなざしを感じることが出来る光原百合の世界を紹介します。

常設展 「福山市および近接市町村ゆかりの文学者たち」「井伏鱒二の世界」（通年）

福山城博物館 TEL(084)922-2117

〒720-0061 福山市丸之内一丁目8番

- 開館時間／午前9時～午後5時（入館午後4時30分まで）
- 休館日／月曜日（祝休日の場合、その翌日）・年末
- 入館料／一般500円（400円）
- ※（ ）内は有料20名以上の団体
- ※特別展の観覧料は別に定めます。
- ※高校生以下無料

ホームページ

| | | | | |
|---|---|---|--|--|
| 春季テーマ展 「福山の初期色絵磁器 姫(ひめ)谷(たに) 一古丸谷・鍋島・柿右衛門・古伊万里と共に」 4月3日(木)～6月22日(日) | 企画展 どうぶつのいる風景 6月27日(金)～8月31日(日) | 企画展 文人画が彩る 福山藩の文化① 9月4日(木)～9月28日(日) | 企画展 文人画が彩る 福山藩の文化② 11月29日(土)～2026年1月12日(月・祝) | 企画展 新収蔵品展 2026年1月16日(金)～3月15日(日) |
|---|---|---|--|--|

初代藩主、水野勝成が携わったと伝わる姫谷焼、それは水野家の断絶と共に廃れることで幻とさえ言われる福山郷土の焼物です。柿右衛門のような鮮やかな色合いは多くの人々を魅了し、今なお根強い人気を誇っています。この展覧会では、古丸谷焼・鍋島焼等、姫谷焼と同時に制作された陶器を交えて、色絵磁器の世界を紹介します。

どうぶつ、それは人々の生活に寄り添い、癒しを与えてきました。華麗な姿と美しい鳴き声から目と耳を魅了させてくれる鳥類、農耕を助力し、パートナーとしての側面をもつ牛馬等、龍、鳳凰、そして白澤(はくたく)と呼ばれる空想上のどうぶつ達もその対象でした。この展覧会では、絵画、工芸品をメインに、私たちを魅了してきたどうぶつ達の多様な姿をご紹介します。

箱館五稜郭に立てこもる旧幕府軍を率いるのは榎本武揚、そして新選組副長であった土方歳三でした。それら旧幕府軍に対して、新政府軍の一員でもあった福山藩もその攻撃に参加します。この展覧会では、箱館出兵を中心として、旧幕府軍と福山藩の動静、そして明治の変革に巻き込まれる福山について紹介します。

福山市人権平和資料館 TEL(084)924-6789

〒720-0061 福山市丸之内一丁目1番1号

- 開館時間／午前9時30分～午後5時
- 休館日／月曜日（祝休日の場合、その翌日）・年末年始
- 入館料／一般100円（80円）
- ※（ ）内は20名以上の団体
- ※高校生以下無料

ホームページ

| | | | | |
|---|---|--|---|---|
| 企画展 世界パラ会議福山大会開催記念 絵本「ゆうちゃん」とまほうのぼら」原画展 4月13日(日)～6月29日(日) | 企画展 戦後80年企画 「原爆の戦線パートII」～父との別れ～ 7月6日(日)～9月7日(日) | 企画展 「北海道における近代の学校とアイヌ民族」～沙流川流域を中心に～ 9月14日(日)～11月24日(月・休) | 企画展 「2025ふくやま平和ポスター展」 11月30日(日)～2026年1月18日(日) | 企画展 「被爆建物『旧陸軍被服支廠』写真展」 2026年1月25日(日)～3月29日(日) |
|---|---|--|---|---|

今年、「100万本のバラのまち」になみ世界パラ会議が福山で開催されます。100万本のバラの原点は、戦後まもなく、荒廃した街に平和と潤いをもたらすために市民が植えた1000本のバラと言われています。この絵本は、福山空襲という多大な被害をもたらした戦災から力強く立ち上がった人々の思いを子どもたちに伝えるものです。原画展を通して「ローズマインド（思いやり・優しく・助け合いの心）」について考えていきます。

5歳の時に爆心から約2.5kmの己斐上で原爆に遭った廣中さんはその日の夕方お父さんと再会しますが、お父さんは背中刺された無数のガラス片を満足に取ることもできずに翌日亡くなります。この2日間の出発事を広島市立基町高校美術部の生徒が10枚の絵に再現しました。この絵を中心に、新たに制作された原爆の絵の複製画を展示します。

北海道の近代化に伴い教育環境の整備が行われてきましたが、その裏では北海道旧土人保護法が制定され、アイヌと移住者の児童を分離した教育や、アイヌの児童に対する同化教育など差別を助長する政策がとられました。これに対して地域社会の指導者として活躍した貝澤トレントらの活動に焦点を当て、人々が教育にかけた思いが今日どのような形で地域に受け継がれているかを紹介します。

戦後80年を迎えるにあたり、戦後の記憶を風化させることなく「平和の大切さ」を次世代に語り継ぐため、今だからこそ問われている一人ひとりの平和への思いをポスター作品として表現する作品を募集し、「人権週間」のイベントとして展示します。

広島県立歴史博物館 TEL(084)931-2513

(ふくやま草戸千軒ミュージアム)

〒720-0067 福山市西町二丁目4番1号

- 開館時間／午前9時～午後5時（入館午後4時30分まで）
- 休館日／月曜日（祝休日の場合、その翌日）・年末年始
- 入館料－常設展／一般290円（220円）
- 大学生210円（160円）

ホームページ X(旧Twitter)

| | | | |
|---|---|--|--|
| 守屋壽コレクション初公開記念 洛中洛外図屏風と古地図でたどる日本の歴史 4月25日(金)～6月15日(日) | 夏の企画展 ひろしま鉄道メモリー ー線路は続くよ いつまでもー 7月11日(金)～8月31日(日) | 秋の展示 歴史から学ぶ防災 ー未来へつなぐ災害の記憶ー 9月19日(金)～11月24日(月・休) | 通史展示室「瀬戸内の歴史をたどる」(ミニ展示を2か月ごとに展示替え)・草戸千軒展示室「よみがえる草戸千軒」(通年展示) |
| 近世文化展示室 4月18日(金)～6月15日(日) | 6月20日(金)～8月17日(日) | 8月22日(金)～10月19日(日) | 10月24日(金)～12月21日(日) |
| 菅茶山の世界 | シン「菅茶山関係資料」① | 菅茶山と白河藩 | 菅茶山と後継者 |
| 守屋壽コレクション | 西洋の古地図にみる日本 | 江戸の風景 | 長寿を壽ぐ |
| | | 長崎とオランダ・中国 | 朝鮮通信使と琉球使節 |
| | | | 蝦夷地調査と地図 |
| | | | ペリ－来航と幕末 |